

2) 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

診療科コード	診療科名	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
90	リウマチ科	070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	30	37.53	15.58	16.67	65.37
90	リウマチ科	070560xx99x01x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病あり	15	9.00	27.21	0.00	59.87
90	リウマチ科	070470xx99x0xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等2なし	12	28.75	15.90	16.67	70.83
90	リウマチ科	070560xx97x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	—	—	27.07	—	—
90	リウマチ科	070560xx99x1xx	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2あり	—	—	36.16	—	—
090	リウマチ・膠原病内科		リウマチ・膠原病内科の症例で多いのは膠原病の治療入院で、診療科全体の2/3以上を占めています。全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎、多発筋炎、強皮症などの一般的な膠原病に加え、不明熱の原因の1つで診断が臓器にわたる病気が多いですが、当院では他科の専門医が豊富なため当院で完結した治療が受けられます。そのため高度な治療を行うことが多く、入院期間も長期化することが多いです。以前入院患者の半数を占めていた関節リウマチですが、近年の治療の進歩に伴い、外来でのコントロールが良好となり、感染症などの合併症も少なくなったため、入院することが少なくなりました。					
100	小児科	040090xxxxxx0x	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 副傷病なし	114	5.41	6.19	0.00	0.85
100	小児科	030270xxxxxx0x	上気道炎	41	4.17	4.96	0.00	1.59
100	小児科	060380xxxxxx0x	ウイルス性肺炎 手術・処置等2なし	34	4.12	5.42	0.00	4.03
100	小児科	0400801199x00x	肺炎等(1歳以上15歳未満) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	33	5.09	5.71	3.03	1.91
100	小児科	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	24	3.04	7.28	4.17	6.29
100	小児科		小児科の症例で多いのは15歳未満の肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎での入院で、診療科全体の3割以上を占めています。当院の小児科は地域小児科センターとして大分県東部地域の小児二次医療施設の役割を果たしており、他院からの紹介および救急搬送の受け入れに常時対応しています。一方、一次診療は開業小児科、当番医、別府市が受け持つという地域小児医療体制を整えています。					
120	整形外科	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	98	26.23	26.30	91.84	83.82
120	整形外科	160760xx97xxxx	前腕の骨折 手術あり	36	6.31	5.68	8.33	51.03
120	整形外科	160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。) 手術なし 副傷病なし	30	15.03	19.61	96.67	82.67
120	整形外科	070400xx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症(変形を含む。) 人工関節置換術等	29	32.52	22.27	62.07	71.03
120	整形外科	160780xx97xx0x	手関節周辺の骨折・脱臼 手術あり 副傷病なし	24	3.88	4.13	0.00	38.67
120	整形外科		整形外科の症例で多いのは高齢者による股関節大腿近位骨折での入院で、診療科全体の1.5割近くを占めています。当院の整形外科では、悪性骨軟部腫瘍を除く全整形外科疾患に対応しております。特に変形性関節症やリウマチに対する人工関節置換術、手の外科(マイクロサージャリーを含む)、脊椎背髄外科、膝疾患、肩疾患、小児肩・膝・肘・手首・足首などへの関節鏡手術や脊椎内視鏡手術も実施しています					
130	形成外科	070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍(脊椎背髄を除く。) その他の手術あり 手術・処置等1なし	15	7.00	4.86	0.00	45.73
130	形成外科	020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等2なし	14	8.14	3.15	0.00	71.00
130	形成外科	070570xx01010xx	癬癧拘縮 癬癧拘縮形成手術 手術・処置等1なし	10	9.40	5.72	0.00	38.30
130	形成外科	160200xx02000xx	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む。) 鼻骨骨折整復固定術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	—	—	5.37	—	—
130	形成外科	080010xxxx00xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	—	—	12.51	—	—
130	形成外科		当院の形成外科では、皮膚良性腫瘍、悪性度の低い皮膚癌の切除術および再建術などの皮膚外科手術、顔面外傷、顔面骨折の手術、中等度の熱傷や皮膚感染症の治療など形成外科疾患に対応しています。また、再建、乳房再建を行います。乳房再建は自家組織を用いた再建・インプラントを用いた再建ともに対応可能です。					
150	脳神経外科	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	21	25.00	9.69	28.57	69.00
150	脳神経外科	010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCSI1未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	15	23.40	18.72	46.67	68.60
150	脳神経外科	010040x199x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCSI10以上) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	10	33.30	21.23	70.00	73.30
150	脳神経外科	010050xx02x00x	非外傷性硬膜下血腫 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	—	—	11.80	—	—
150	脳神経外科	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	—	—	7.35	—	—
150	脳神経外科		当院脳神経外科の症例で多いのは頭部外傷と脳卒中で、診療科全体の4割以上を占めています。当院では日本脳神経科学会および日本脳卒中学会の認定専門医2名が365日、24時間体制をとり、脳神経外科領域全般の急性期診療を行っています。必要に応じCT/MRIから脳血管撮影や脳血流シンチ等核医学検査を行い、退院後のケアを含めた全人的な診療を行っています。					
160	呼吸器外科	040040xx97x0xx	肺の悪性腫瘍 手術あり 手術・処置等2なし	40	14.68	11.87	2.50	73.68
160	呼吸器外科	040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 副傷病なし	18	8.61	10.00	0.00	68.33
160	呼吸器外科	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	—	—	3.43	—	—
160	呼吸器外科	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	—	—	14.58	—	—
160	呼吸器外科	040040xx9906xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり	—	—	16.32	—	—
160	呼吸器外科		呼吸器外科の症例で多いのは肺の悪性腫瘍での入院で、診療科全体の5割以上を占めています。当院の呼吸器外科では胸の中での臓・大血管、食道を除くすべての臓器(気管支・肺、縦隔など)の疾患が対象としており、手術をはじめとして抗がん剤治療や低侵襲な治療に至るまで幅広く取り組んでいます。また、気胸、胸腔鏡手術という内視鏡を用いた手術も行っています。					
170	心臓血管外科	050163xx03x0xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 スtentグラフト内挿術 手術・処置等2なし	17	12.88	12.01	17.65	74.29
170	心臓血管外科	0500800xx01010x	弁膜症(連合弁膜症を含む。) ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)等 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 副傷病なし	14	30.36	24.00	7.14	74.64
170	心臓血管外科	050170xx03000xx	閉塞性動脈疾患 動脈血栓陰性去術 その他のもの(親血的なもの)等 手術・処置等1なし、1あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	14	7.50	5.50	14.29	74.71
170	心臓血管外科	050180xx02xxxx	静脈・リンパ管疾患 下肢静脈瘤手術等	14	2.29	2.85	7.14	74.79
170	心臓血管外科	050170xx99000x	閉塞性動脈疾患 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	12	12.58	7.68	8.33	77.92
170	心臓血管外科		当院では、心臓外科と血管外科にて診療を行っています。心臓外科においては心臓弁膜症手術や冠動脈バイパス術、胸部大動脈瘤手術などの成人心臓外科手術を行っています。血管外科においては大動脈瘤の緊急及び管形成術(PTA)、ステント挿入術等各種血管行再建術、下肢静脈瘤に対する根治術、血管外傷の緊急手術などを中心に診療を行っています。					
220	産婦人科	12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2あり 副傷病なし	118	6.53	4.85	0.00	64.58
220	産婦人科	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	89	8.38	6.16	0.00	44.76
220	産婦人科	120010xx99x50x	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等25あり 副傷病なし	61	5.86	4.61	3.13	67.00
220	産婦人科	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術(腔式を含む。) 腹腔鏡によるもの等	64	8.16	6.28	0.00	48.30
220	産婦人科	12002xxx02x0xx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部(経部)切除術等 手術・処置等2なし	60	3.73	3.20	0.00	40.92
220	産婦人科		産婦人科の症例で多いのは子宮頸・体部の悪性腫瘍での入院で、診療科全体の2割以上を占めています。当院の産婦人科では周産期医療および未熟児診療ができるNICUを備え、重症合併症妊婦の管理、双胎妊婦などの集中管理、ハイリスク妊婦の救急母体搬送の受け入れのできる地域周産期医療センターとして機能してま街などの子宮がん・卵巣がん根治手術と、外照射(リニアック)等による放射線治療、選択的子宮動脈抗がん剤注入法などの集学的治療を行っています。					
230	眼科	020110xx97xxxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり片眼	244	4.57	2.84	0.00	76.08
230	眼科	020200xx9710xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	43	7.95	7.05	0.00	71.00
230	眼科	020160xx97xxxx0	網膜剥離 手術あり片眼	31	9.39	9.75	0.00	56.03
230	眼科	020240xx97xxxx0	硝子体疾患 手術あり片眼	31	7.90	6.16	0.00	76.23
230	眼科	020180xx97x0x0	糖尿病性増殖性網膜症 手術あり 手術・処置等2なし片眼	26	9.27	7.52	0.00	58.81
230	眼科		眼科で症例が多いのは、白内障での手術目的での入院です。当院の眼科では、白内障の治療のほか、光干渉断層計(OCT)を導入し種々の網膜硝子体疾患に伴う黄斑病変(加齢黄斑変性、黄斑浮腫、黄斑上膜、黄斑円孔、強度近視黄斑分離症など)に対する薬物療法、硝子体手術を行っています。					
240	耳鼻咽喉科	030350xxxxxx0xx	慢性副鼻腔炎	48	10.08	7.04	0.00	56.65
240	耳鼻咽喉科	030230xxxxxx0xx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	43	8.44	7.89	0.00	30.63
240	耳鼻咽喉科	030428xxxxxx0xx	突発性難聴	29	9.17	9.02	0.00	57.76
240	耳鼻咽喉科	030150xx97xxxxx	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍 手術あり	23	9.17	7.37	0.00	56.83
240	耳鼻咽喉科	030390xx99xxxxx	顔面神経障害 手術なし	13	9.38	9.26	0.00	54.46
240	耳鼻咽喉科		当院の耳鼻咽喉科では、耳疾患(中耳炎・突発性難聴・顔面神経麻痺・耳性めまい・耳うろち)、鼻副鼻腔疾患(アレルギー性鼻炎・鼻茸・副鼻腔炎・鼻中隔湾曲症)、咽頭疾患(扁桃炎・扁桃肥大)、喉頭疾患(声帯結節・ポリープ・下咽・頭部)など耳鼻咽喉科疾患の中で頻度の高いものの多くを診療しております。					
280	神経内科	010060x2990401	脳梗塞(脳卒中発症3日以内、かつ、JCSI1未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 副傷病なし発症前Rankin Scale 0、1又は2	22	18.09	16.18	45.45	69.14
280	神経内科	010080xx99x001	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし15歳以上	19	12.05	12.09	5.26	40.68
280	神経内科	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	19	11.84	7.28	0.00	66.11
280	神経内科	010061xxxxxx0xx	一過性脳虚血発作 手術・処置等2なし	15	6.73	6.24	0.00	77.07
280	神経内科	010060x2990411	脳梗塞(脳卒中発症3日以内、かつ、JCSI1未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 副傷病1あり発症前Rankin Scale 0、1又は2	14	23.86	18.22	50.00	77.36

280	神経内科	神経内科の症例で多いのは脳梗塞の入院で、診療科全体の4割以上を占めています。 当院の神経内科では頭痛、しびれ、めまいなどの疾患から神経難病まで神経内科全般の診断・治療を行っています。特にギレン/バレー症候群や多発性硬化症などの免疫性神経疾患や、髄膜炎などの神経感染症とい 療しております。						
300	皮膚科	080006xx01x0bxx	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外) 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等2なし	77	10.10	8.16	2.60	79.75
300	皮膚科	080007xx01x0bxxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)等 手術・処置等1なし	54	5.22	4.05	0.00	48.54
300	皮膚科	080010xxxx0bxxx	膿皮症 手術・処置等1なし	30	13.20	12.51	0.00	57.83
300	皮膚科	080005xx01x0bxx	黒色腫 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等2なし	20	16.90	13.72	0.00	64.20
300	皮膚科	08020xxxxxxxx	帯状疱疹	17	9.06	8.98	5.88	63.47
300	皮膚科	当院の皮膚科・皮膚腫瘍科では入院治療として、皮膚悪性腫瘍の切除・センチネルリンパ節生検・郭清術・抗癌剤治療・放射線治療、皮膚良性腫瘍の切除、凍瘡に対するステロイド内服・外用療法、帯状疱疹・成人水痘・ 蜂窩織炎に対する抗生物質の使用、壊死性筋膜炎のデブリドンと全身管理などを行っています。						
310	泌尿器科	110080xx991x0x	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 副傷病なし	72	2.04	2.53	0.00	72.86
310	泌尿器科	110070xx02000x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的な手術 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	56	10.98	7.20	0.00	73.73
310	泌尿器科	110420xx02xx0x	水腎症等 経尿造的尿管カテーテル留置術等 副傷病なし	19	4.63	4.29	5.26	72.95
310	泌尿器科	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の悪炎症 手術なし 副傷病なし	13	11.54	12.58	15.38	72.23
310	泌尿器科	140590xx97xxxx	停留精巣 手術あり	13	3.23	3.14	0.00	1.92
310	泌尿器科	腎・泌尿器外科の症例で多いのは膀胱と前立腺の悪性腫瘍での入院で、診療科全体の3割以上を占めています。 当院の腎・泌尿器外科では全尿路・男性生殖器および副腎・副甲状腺などの内分泌臓器にまで渡り、外科的治療を中心に診療を行っています。特に腎、腎盂、尿管、副腎に対しては腹腔鏡下手術を第一選択として加療ひ 抗がん化学療法、放射線療法といった集学的療法にも力を入れています。						
340	呼吸器内科	040404xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	42	3.26	3.43	0.00	71.76
340	呼吸器内科	040110xxxx0bxx	間質性肺炎 手術・処置等2なし	28	25.39	19.06	17.86	76.50
340	呼吸器内科	040404xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 副傷病なし	25	9.04	10.00	4.00	70.72
340	呼吸器内科	040404xx99000x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	21	20.76	14.58	28.57	71.62
340	呼吸器内科	040404xx99070x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 副傷病なし	21	27.29	10.92	0.00	75.24
340	呼吸器内科	呼吸器内科の症例で多いのは肺の悪性腫瘍での入院で、診療科全体の3割以上を占めています。 当院の呼吸器内科では、肺の悪性腫瘍のほかに、呼吸器感染症(肺炎)、肺繊維症(間質性肺炎)、呼吸不全など患者さんが多く入院されてきます。肺がんについては、がん地域連携拠点病院として呼吸器外科や放射線科 行っております。						
350	循環器内科	050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等11あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	84	3.43	3.01	1.55	70.20
350	循環器内科	050050xx99000x	急性冠動脈症候群(急性心筋梗塞) 手術・処置等2なし 副傷病なし	194	7.31	4.47	1.19	70.37
350	循環器内科	050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	59	23.73	17.66	11.86	83.93
350	循環器内科	050030xx97000x	急性心筋梗塞(持続性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞 その他の手術あり 手術・処置等1なし、1あり 手 術・処置等2なし 副傷病なし	32	24.13	12.52	6.25	68.16
350	循環器内科	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1なし、1.3あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	27	13.52	11.01	3.70	74.85
350	循環器内科	循環器内科の症例で多いのは狭心症、慢性虚血性心疾患での入院で、診療科全体の5割以上を占めています。 当院の循環器内科では狭心症や心筋梗塞に対するカテーテル治療と治療、心臓血管外科と連携して弁膜症患者さんの手術適応についての評価、ペースメーカー植え込み術及び電池交換術、不整脈疾患の診断と管理な ります。						
410	腎臓内科	110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	49	14.90	12.05	16.33	70.41
410	腎臓内科	110280xx02xx0x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等2なし 副傷病なし	27	12.48	8.75	3.70	65.78
410	腎臓内科	110280xx021xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等21あり	24	33.50	35.72	8.33	69.21
410	腎臓内科	110280xx99020x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 副傷病なし	17	4.59	8.77	0.00	69.12
410	腎臓内科	110280xx99010x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2あり 副傷病なし	14	15.93	14.21	7.14	68.29
410	腎臓内科	当院の腎臓内科では、全ての腎疾患に対して症状の程度や急性・慢性に関わらず、総合的に診断、治療を行っています。また、「慢性腎臓病:Chronic Kidney disease:CKD」という概念が提唱されて以来、腎機能異常を早期 が可能となってきたことから患者教育にも率先して取り組むようになっています。腎臓病を患うすべての患者さんとその家族に病気に対する正しい知識を身につけて頂き、少しでも良い医療を提供できるよう取り組んでい ます。						
500	消化器内科	060100xx01xx0xx	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。) 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 副傷病なし	126	2.56	2.67	0.79	72.68
500	消化器内科	060340xx03xx00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 胆嚢切除術・胆管手術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	56	10.61	10.08	10.71	72.93
500	消化器内科	060050xx97xx00x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	40	18.93	10.42	5.00	77.30
500	消化器内科	060050xx99000x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	28	12.32	9.59	10.71	72.71
500	消化器内科	060380xxxx000x	ウイルス性肝炎 手術・処置等2なし	21	7.95	5.42	0.00	58.19
500	消化器内科	当院の消化器内科では、消化管がん疾患、肝疾患、胆道疾患の診断治療を行っています。上部、下部の消化管の内視鏡検査及び内視鏡的治療(出血性消化性潰瘍に対する止血術、早期胃がん粘膜切除術、大腸がん・ポリ プス療法など消化器内科全般の治療・診断を行っています。						
510	消化器外科	060040xx99960x	直腸肛門(直腸5cm以下から肛門)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等26あり 副傷病なし	42	3.36	4.33	0.00	70.57
510	消化器外科	06016001xxxx	直経ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 腹壁ヘルニア等	38	6.66	4.96	0.00	70.11
510	消化器外科	060035xx99960x	結腸(虫嚢を含む。)	37	3.43	4.41	0.00	72.22
510	消化器外科	060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	36	8.44	7.30	5.56	61.58
510	消化器外科	060010xx99940x	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)	25	7.64	9.58	4.00	68.56
510	消化器外科	消化器外科の症例で多いのは消化器の悪性腫瘍での入院で、診療科全体の5割以上を占めています。 当院の消化器外科では、消化器がん治療、ヘルニア手術、腹部救急・炎症性疾患の治療を中心に、鏡視下手術や薬物療法を併用した集学的治療を取り入れながら診療を行っています。						
530	腫瘍内科	100070xx99x100	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)	28	12.57	13.90	0.00	62.54
530	腫瘍内科	100071xx99x100	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全あり。)	12	16.08	14.27	0.00	64.42
530	腫瘍内科	100180xx990x0x	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 副傷病なし	11	3.00	6.35	0.00	55.18
530	腫瘍内科	100070xx99x000	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)	10	13.30	11.05	0.00	57.20
530	腫瘍内科	100071xx99x000	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全あり。)	-	-	11.54	-	-
530	糖尿病・内分泌内科	糖尿病・内分泌内科の症例で多いのは2型糖尿病での入院で、診療科全体の9割以上を占めています。 当院の糖尿病・内分泌内科では糖尿病を中心に、内分泌疾患(甲状腺、脳下垂体、副腎など)全般の診療を行っています。糖尿病患者教育に力を入れており、自己管理可能となっていたり、自己管理が難しい患者さんに対しては、インスリン導入、代謝異常(重篤な高血糖、ケトアシドーシス)時の緊急治療、手術前後のコントロール、合併症の治療を入院で行っています。						
600	総合診療科	060270xx99x0bxx	劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎 手術なし 手術・処置等2なし	-	-	12.17	-	-
600	総合診療科	110310xx99xx0bxx	腎臓または尿路の悪炎症 手術なし 副傷病なし	-	-	12.58	-	-
600	総合診療科	070560xx99x00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	15.58	-	-
600	総合診療科	030400xx99xxxx	前駆糖尿病 手術なし	-	-	5.10	-	-
600	総合診療科	040081xx99x00x	間質性肺炎 手術・処置等2なし 副傷病なし	-	-	20.92	-	-
600	総合診療科	当院の総合診療科は、専門分野にかたよらずに、内科1般についての初期診断・治療を行っています。主に、日常よくある内科疾患や臓器別専門医を必要としない疾患に対応しますが、どの診療科を受診したらよいのか を提供したり、消化器科では、消化器がん治療、ヘルニア手術、腹部救急・炎症性疾患の治療を中心に、鏡視下手術や薬物療法を併用した集学的治療を取り入れながら診療を行っています。また、最適な当院専門診療科への紹介も行っています。						
610	乳腺外科	090010xx01x0bxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))等 手術・処置等2なし	50	12.58	10.59	0.00	63.90
610	乳腺外科	090010xx9994xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等24あり	16	7.19	4.28	0.00	54.94
610	乳腺外科	090010xx02xx0x	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術(腋窩郭清を伴わないもの)	-	-	6.23	-	-
610	乳腺外科	090010xx9992xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等22あり	-	-	28.81	-	-
610	乳腺外科	090010xx97x0xx	乳房の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし	-	-	6.52	-	-
610	乳腺外科	乳腺外科の症例で多いのは乳房の悪性腫瘍での入院で、診療科全体の9割以上を占めています。 当院の乳腺外科では主に乳がんの診断・治療を専門に行っています。がん地域医療拠点病院として、院内の各関連分野(放射線科、病理部、緩和ケアチーム、外来化学療法部門)と連携して患者中心のチーム医療を実践 しています。						
620	新生児科	140010xx199x00x	妊娠期間短縮、低出生体重児に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	72	4.79	6.17	1.39	0.00
620	新生児科	140010xx297x00x	妊娠期間短縮、低出生体重児に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満) 手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	35	14.49	15.26	0.00	0.00
620	新生児科	140010xx297x2xx	妊娠期間短縮、低出生体重児に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満) 手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	35	23.66	33.56	2.86	0.00
620	新生児科	140010xx297x00x	妊娠期間短縮、低出生体重児に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	13	7.15	11.32	0.00	0.00
620	新生児科	140010xx197x2xx	妊娠期間短縮、低出生体重児に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術あり 手術・処置等22あり	10	13.00	25.15	0.00	0.00
620	新生児科	当院は地域周産期母子医療センターとして大分県東部地域の周産期医療を担っており、NICU(新生児集中治療室)3床、GCU(新生児治療回復室)の後方病床5床を有しています。新生児科では、主に出生体重1,000g以上 の児です。母体輸送が間に合わなかった場合、もしくは予定せぬ分娩の新生児の院外出生に対して新生児搬送用救急車による救急搬送に常時対応しています。						

転院患者数	合計在院日数	合計年齢
5	1126	1961
0	135	898
2	345	850
－	－	－
－	－	－

難しい血管炎なども診断・治療しています。膠原病は多

0	617	97
0	171	65
0	140	137
1	168	63
1	73	151

市夜間こども診療に担当していただき、その後方を当院

90	2571	8214
3	227	1837
29	451	2480
18	943	2060
0	93	928

整形に対しては専門の医師が担当いたします。また、

0	105	686
0	114	994
0	94	383
－	－	－
－	－	－

他科からの依頼・連携により、頭顔部再建や胸壁腹壁

6	525	1449
7	351	1029
7	333	733
－	－	－
－	－	－

までを駆使し迅速で的確な診断と最新医学に基づく加

1	587	2947
0	155	1230
－	－	－
－	－	－
－	－	－

、肺良性疾患、縦隔良性腫瘍、胸壁良性腫瘍などに対し

3	219	1263
1	425	1045
2	105	1046
1	32	1040
1	151	935

特種手術、動脈閉塞性疾患のバイパス術、経皮経管血

0	771	7621
0	746	3984
2	375	4288
0	498	2946
0	224	2455

す。また婦人科疾患も診断・治療として、広汎子宮全摘

0	1115	18563
0	342	3053
0	291	1737
0	245	2363
0	241	1529

など前科全般における各疾患に対し診療を行っていま

0	484	2719
0	363	1317
0	266	1675
0	211	1307
0	122	708

ノープ)、腫瘍(口腔・咽頭・喉頭・鼻咽鼻腔、顎下腺・耳

10	398	1521
1	229	773
0	225	1256
0	101	1156
7	334	1083

った緊急治療を必要とする急性期神経疾患を主体に診		
2	778	6141
0	282	2621
0	396	1735
0	338	1284
1	154	1079
カボジ水痘様発疹症などに対する抗ウイルス剤の使用、		
0	147	5246
0	615	4129
1	88	1386
2	150	939
0	42	25
ています。また、泌尿器癌に対しては外科的療法に加え		
0	137	3014
5	711	2142
1	226	1768
6	436	1504
0	153	1580
との連携を積極的に行っており、緩和医療についても		
3	665	13618
1	614	5911
7	1400	4952
2	772	2181
1	365	2021
どを行っております。		
8	730	3450
1	337	1776
2	804	1661
0	78	1175
1	223	956
に発見し適切な管理・治療ができれば進行予防や寛解		
1	323	8528
6	594	4084
2	757	3092
3	345	2036
0	167	1222
ープ粘膜切除術など)やB型、C型肝炎に対する抗ウイ		
0	141	2964
0	253	2664
0	127	2672
2	304	2217
1	191	1714
0	352	1751
0	193	773
0	33	607
0	133	572
-	-	-
し、2～4週間の教育入院を受入れております。このほ		
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
判断に困っている患者さんを診察し、適切なアドバイス		
0	629	3195
0	115	879
-	-	-
-	-	-
-	-	-
載しています。		
1	345	0
0	507	0
1	828	0
0	93	0
0	130	0
、在胎週数27週以上の病的新生児を対象に治療を行っ		

